

推薦の言葉	3
はじめに	5

第1章

脳梗塞の後遺症で飲み込めない!?

胃瘻という方法があります

Q1	胃瘻ってなんですか？何のために造るのですか？	14
Q2	鼻からのチューブで栄養を入れるのと、何がちがうのですか？	16
Q3	どのような場合に胃瘻を造るのですか？	20
Q4	高齢者や子供でも安全に行われる手術なのですか？	21
Q5	少しは口からも食べられるのですが食べさせてはいけないのですか？	22
Q6	一度造ってもらったら、ずっとこのままなんですか？	24
Q7	手術の前に特別な検査をする必要があるのですか？	25
コラム	経鼻胃管栄養の欠点についても知っておきましょう	18
コラム	ASPEN (JSPEN)のガイドラインにみる栄養療法と投与経路のアルゴリズム	28

第2章

おなかに小さな口、といわれても…

内視鏡を使って短時間で造ります

Q8	PEGの手術にはどのくらいの時間がかかりますか？	31
Q9	どんな設備で行われるのですか？	31
Q10	どんな手順で行われるのですか？	32
Q11	手術は痛くないですか？麻酔をするのですか？	33
Q12	どんな器具がおなかに取りつけられるのですか？	34
Q13	手術中の合併症など、危険はありませんか？	35
Q14	手術後いつ頃から胃瘻栄養を始めるのですか？	36
Q15	手術は医療保険がききますか？費用はどのくらいかかるのですか？	36
コラム	PEGの術式	38

第3章

このままで退院できるの？

おなかの口が安定すれば大丈夫

Q16	手術翌日、せっかく胃瘻を造ったのになぜ点滴をしているのですか？	41
Q17	胃瘻の周囲が赤く腫れて痛がっています。	42
Q18	胃瘻の周囲から膿のようなものが出てきます。	42
Q19	高熱がでてしまいました。どうしたのでしょうか？	43
Q20	動いていいですか？	43
Q21	入浴はいつからですか？	44
Q22	退院の目安はいつ頃ですか？	44

第4章**自宅で家族ができるか不安…****慣れと工夫でご家族にも心のゆとりができます**

Q23	どんな道具が必要になりますか？	48
Q24	栄養剤にはどんな種類がありますか？また、どうやって入手するのですか？	49
Q25	栄養剤の用意は手間がかかるのですか？	50
Q26	投与量や投与回数はどうのように決定されるのですか？	51
Q27	投与にはどのくらい時間がかかりますか？	52
Q28	家族と同じ食事をミキサーにかけて投与することはできますか？	52
Q29	胃瘻の周りの手入れは大変ですか？	53
Q30	家でもシャワーや入浴はできますか？	54
Q31	歩いたり車椅子で動いたりできますか？	55
コラム	介護者の負担も軽くする胃瘻(59名の調査結果より)	56

第5章**栄養剤の扱いに自信がないのだけれど…****正しい手順と管理法を覚えましょう**

Q32	栄養剤を投与するとき、苦しくない姿勢にする工夫がありますか？	59
Q33	栄養剤は薄めていいのですか？	60
Q34	水分の補給は？白濁以外に入れてもいいものを教えてください。	60
Q35	薬は水分補給の白濁に溶かして投与してはいけないのですか？	61
Q36	塩分を補給するように言われましたが、いつ入れたらいいのですか？	62
Q37	栄養剤の保管は冷蔵庫にするのですか？使用する前に温める必要はありますか？	63
Q38	開封後冷蔵してある栄養剤を次の投与に使用してよいですか？	64
Q39	投与後も上体は起こしておいたほうがいいのですか？	64
Q40	使用後の器具(注入容器、チューブ、注射器など)の洗浄法を教えてください。	65
コラム	こんなものも使えます～身近なものを工夫して～	66

第6章**こんなトラブルどうして起こるの？****ご心配なく、原因がわかれば対処法はあります**

Q41	胃瘻の周囲が赤く盛り上がってきました。これは何ですか？なぜ出来るのですか？	69
Q42	肉芽は治療しなければいけませんか？	69
Q43	肉芽はどのように治療するのですか？	70
Q44	ガーゼやチューブを固定するテープにかぶれます。	71
Q45	胃瘻のチューブの周りから胃液や栄養剤が漏れてきて皮膚がただれます。	72
Q46	胃瘻の周囲が赤く腫れて熱を持っています。触ったり押したりすると痛がります。	72
Q47	外部ストッパー(バンパー)が皮膚に食い込んでいます。	73
Q48	きれいに使うために消毒したいのですが…	74
Q49	「皮膚保護材」はどんな時に使うとよいですか？	75
Q50	胃瘻周囲が赤くなり、皮膚科の先生から「カビが生えている」といわれました。	75
Q51	カテーテルのチューブがすぐ汚くなってしまいます。汚くなったら入れ換えてもらえますか？	76

Q52	カテーテルのチューブを長もちさせるコツを教えてください。	77
Q53	カテーテルを傷めやすい薬剤があるそうですが？	78
Q54	カテーテルが詰まってしまいました。どうしたらよいでしょう？	79
Q55	カテーテルが抜けたときはどうするのですか？	80
Q56	カテーテルが変形して壊れるということもあるのですか？	80
Q57	バンパー埋没症候群ってなんですか？	81
Q58	バルン型カテーテル特有のトラブルって何でしょう？	82
Q59	胃潰瘍ができるとききましたか？	84
Q60	ボタン型胃瘻の予備の接続チューブは手に入りますか？	84
Q61	注入中にボタンの接続を外してしまいます。	85
Q62	便秘がみです。	86
Q63	下痢をしてしまいます。	87
Q64	常にゲブゲブしたり吐いたりします。	88
Q65	お腹が張っています。「ガス抜き」「減圧」をするようにいわれました。どのようにするのですか？	91
Q66	急に吐き出しました。	92
Q67	注入すると痰の量が増えて、痰に栄養剤が混じってきます。	93
Q68	吐血しました。または「減圧」したら血液がでてきました。	93
Q69	注入すると少量ですが漏れがあります。	94
Q70	注入すると大量に漏れてしまいます。	95
Q71	あまり食べられないせいか口が汚れてしまいます。お口のケアはどのようにすればよいでしょう？	96
Q72	栄養剤注入にどのくらいの時間をかければよいでしょう？	98
コラム	バルンの迷入による十二指腸球部や小腸の閉塞	83
コラム	経腸栄養剤投与の工夫1(寒天による固形化)	89
コラム	経腸栄養剤投与の工夫2(粘度調整食品の利用)	90

必ず交換しなければいけませんか？

定期的な交換は必要です。タイプの変更もできます

Q73	交換する時はまた入院が必要でしょうか？	101
Q74	交換の費用はどうなっていますか？	101
Q75	造ったときと同じものに交換するのですか？	102
Q76	交換時、痛みがありますか？麻酔はするのですか？	102
Q77	交換用の胃瘻カテーテルの種類と特徴について教えてください。	103
Q78	どんなタイプの胃瘻に入れ換えるのかは何を参考にして決めればよいでしょう？	104
Q79	交換はどのように行うのですか？	105
Q80	交換後はいつから栄養投与を始められますか？	105
Q81	交換後に気をつけることは何でしょう？	106
Q82	自宅で交換する予定です。何に注意すればよいでしょう？	106
Q83	膀胱カテーテルで代用することもできると聞きました。大丈夫でしょうか？	107
Q84	内視鏡で確認しながら交換した方がよい場合がありますか？	107

Q85	交換に伴うトラブルについて教えてください。	108
ｺﾌﾏ	栄養剤投与の工夫	89

第8章 **ちゃんと栄養しているのにどうしてやせるの？**
活動量が増えてきたので、今迄の栄養量では足りないのです

Q86	一日に必要な栄養剤投与量の決め方や投与方法の決め方について教えてください。	111
Q87	素人にも判断できる日常的なチェックポイントはなんでしょう？	112
Q88	定期検査では何をチェックしているのですか？	113
Q89	微量元素ってなんですか？不足するとどうなるのですか？	114
Q90	微量元素を補う方法を教えてください。	115
Q91	必須脂肪酸を点滴で投与する必要があるといわれましたが、なぜでしょう？	115
Q92	特定の病状に適した栄養剤があるのですか？	116
ｺﾌﾏ	カロリー必要量の決定の公式	111

第9章 **胃瘻以外の栄養法もあるんですって？**
腸瘻や食道瘻を使って栄養を入れる方法があります

Q93	腸瘻ってなんですか？	119
Q94	胃瘻と腸瘻はどこが違うの？	120
Q95	PTEGってなんですか？	121

第10章 **胃瘻のことをもっと調べるには？**
インターネットを使って情報を増やしましょう

Q96	胃瘻についての参考情報は？	125
Q97	胃瘻の相談が出来る病院を調べるには？	127
ｺﾌﾏ	PDN 談話室より	128

第11章 **どこでも胃瘻が受け入れられているわけではないって、本当!?**
法律・制度上の問題や、胃瘻への誤解があるので

Q98	胃瘻のために医療福祉サービスの利用を断られることがありました。	133
Q99	胃瘻を取り巻く制度上の問題は？	134
Q100	胃瘻にして本当に幸せ？	135
ｺﾌﾏ	胃瘻にしてよかった？（介護者56名の調査結果より）	137
	PEG 関連製品取り扱いメーカー	138
	索引	140

栄養剤・流動食の表記について

本来、栄養剤は医薬品扱いの製品を示す言葉ですが、本書では食品扱いの流動食と両方を指す場合は、栄養剤と表記しています。あらかじめご了承ください。

PEG100の質問

第1章

脳梗塞の後遺症で飲み込めない!?

胃瘻という方法があります

A

Q1

胃^い瘻^{ろう}ってなんですか？ 何のために造るのですか？

A 胃瘻は栄養補給の一つの手段です。
口から十分量の栄養がとればそれが一番よいのですが、色々な理由で十分に口から食べられない時には、そのままだと体力が弱って衰弱してしまいます。

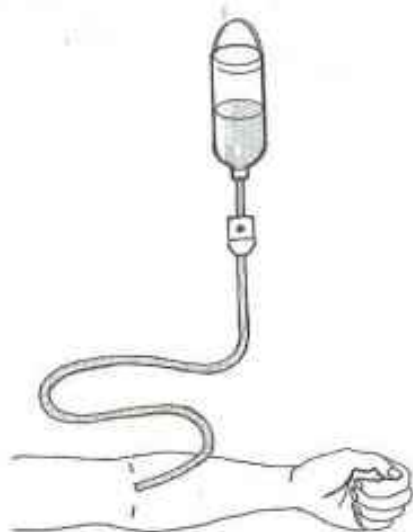
この場合に何らかの方法で不足分の栄養を補う必要があります。大きくわけると点滴で行う方法（経静脈栄養）と、胃腸に栄養剤を入れる方法（経腸栄養）の二通りがあります。

食べられない期間が数日といった短期間の場合は点滴でもよいのですが、一ヶ月をこえるような長期になる時には、胃腸が健康であれば胃腸から栄養を投与した方が体にとっても自然で圧倒的に有利です。

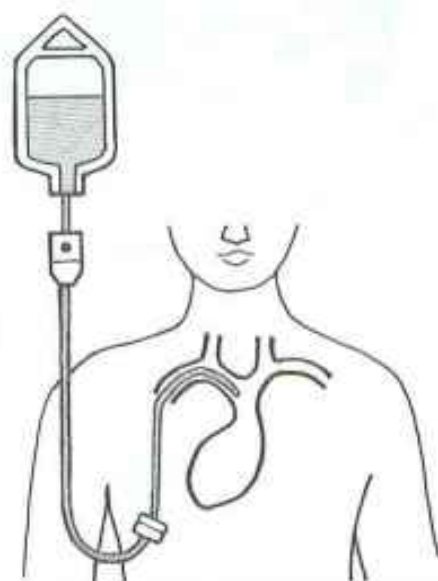
胃腸に栄養を投与する方法として、胃に直接小さな孔を開けて口を造ってそこから栄養剤を入れてあげる方法が胃瘻です。他には、鼻から胃へとチューブをいれて栄養剤を入れる方法などがあります。

《経静脈栄養》

末梢静脈栄養

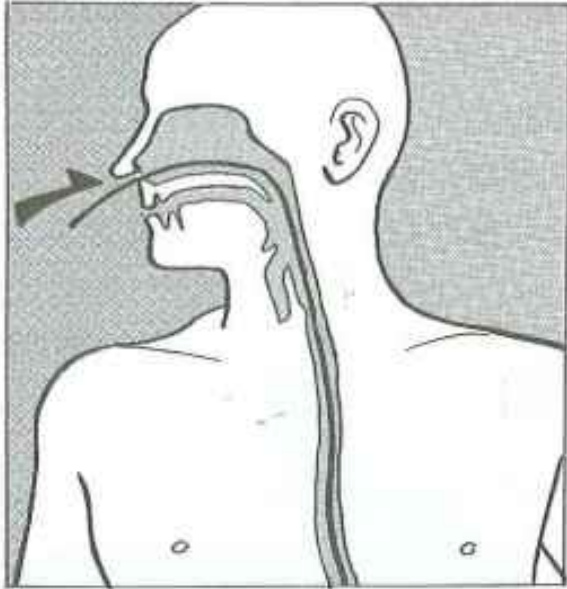


中心静脈栄養(高カロリー輸液)

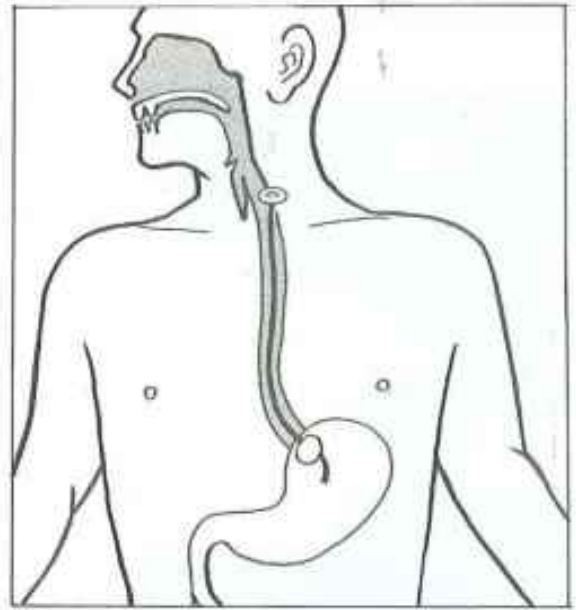


《經腸營養》

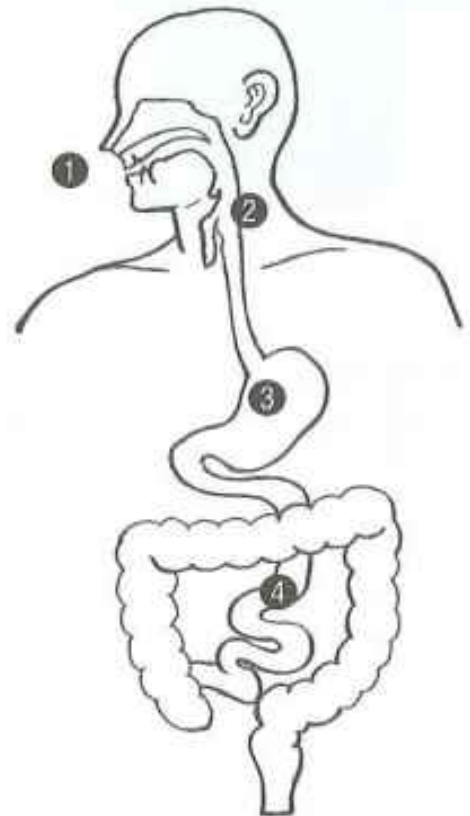
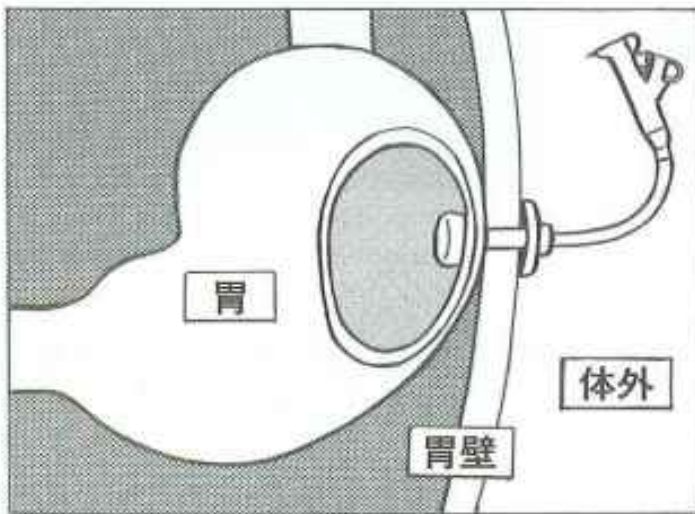
① 經鼻胃管



② 食道瘻 (PTEG)



③ 胃瘻 (PEG)



④ 空腸瘻

Q2

鼻からのチューブで栄養を入れるのと、何がちがうのですか？

1

A 鼻からのチューブ(経鼻胃管)は簡単にいられるため現場で広く行われてきましたが、長期になる場合は胃瘻がすすめられています。胃瘻の方が鼻からのチューブ(経鼻胃管)より優れている点を御紹介します。

- 顔にチューブや絆創膏がないので、違和感がなく見た目もよいです。(精神的・身体的な苦痛が少ないです。)

ご家族より

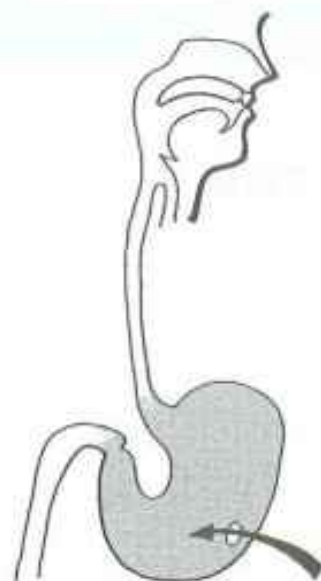
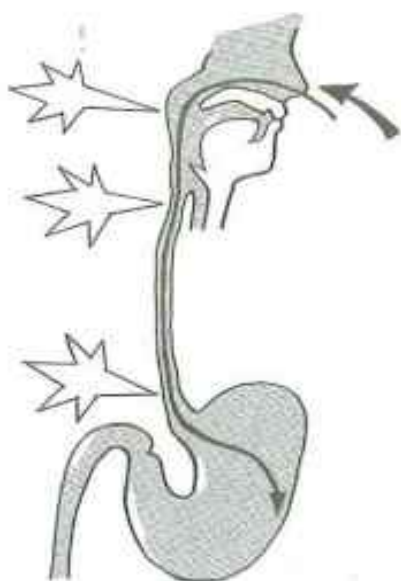


毎日毎日、この表情に会いに特養へ行きました。



目パッチリ、口元キリリ。自宅ベッドで。

- 喉や食道にチューブがないため、ムセや誤嚥・逆流が減ります。その結果、口から食べるリハビリもしやすく、肺炎にもなりにくいといわれます。

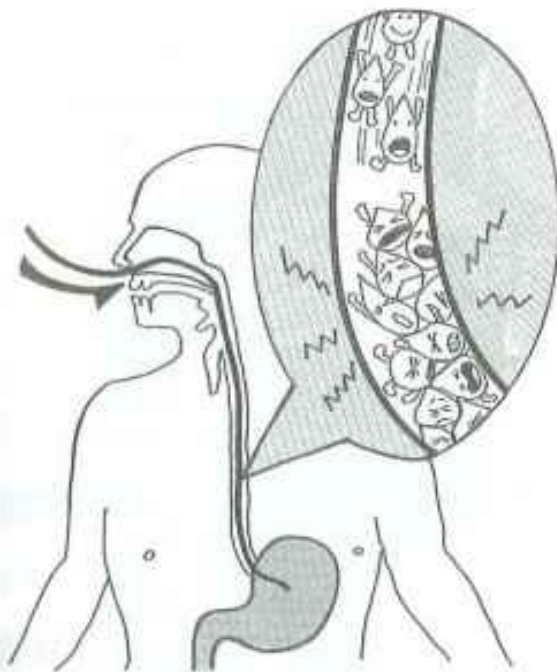


- 胃瘻はその存在が目立たず、邪魔になりません。(服を着ると全く分からなくなります。リハビリの妨げにもならず、社会活動や社会生活も障害しません。)邪魔にならないため患者さんが自分で抜いてしまう(自己抜去)の危険が少なくなります。

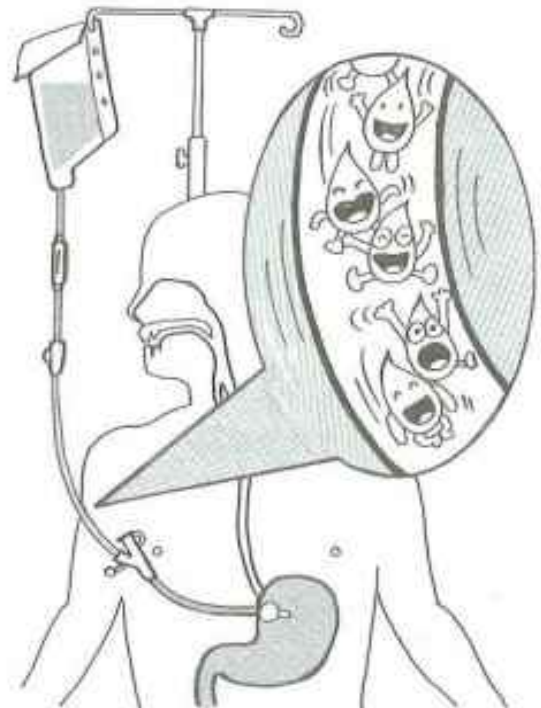


バンパー・ボタン型で職場復帰

- 入っているチューブが胃瘻の方が太く、短いため、詰まりにくく、長もちします。



12～18Fr (フレンチ) 4～6mm くらい



18～24Fr (フレンチ) 6～8mm くらい